

県 広 報

とやま

特集/子どもが健やかに生まれ育つ
社会の実現

TOYAMA PREFECTURAL REPORT



7/18

両県州の絆をいっそう深く

富山県・サンパウロ州友好提携十周年記念行事



▲アウキミン副知事と固く握手

富山県とブラジル・サンパウロ州が昭和六十年に友好提携を締結してからちょうど十周年にあたる七月十八日、富山県民会館で各種記念行事が行われました。

関係者約八十名が出席して行われた記念式典で中沖知事は、「十周年を機に、両県州の友好の源流がやがて大河となり、日本とブラジルに繁栄をもたらすことを願う」とあいさつ。ジェラルド・アウキミン副知事は「友好提携は実りある結果を生んできたが、さらに絆を深めていくことが大切」と州知事のメッセージを伝えました。続いて、中沖知事からアウキミン副知事に同州で日本語を学ぶ学生を対象とした奨学金制度創設と日本語学習教材の目録を贈呈。アウキミン副知事からは、銀とアメジストで作られたサギの置物が贈られました。式典出席者たちは、ロビーで開催されている写真展「ふりかえれば一〇〇年 日本とブラジル」を見学した後、記念祝賀会で和やかに懇談し親睦を深めました。

また夕方からは、県民会館大ホールでブラジルのスーパースター、シモーネ・モレーノのコンサートが行われ、会場を訪れた人々は、そのダイナミックな歌声と躍動感溢れるステージに酔いしれていました。



▲写真展を和やかに見学

▲迫力ある歌声を披露するシモーネ・モレーノ

7/12~7/13

富山・岐阜、新たなる交流の始まり

大規模林道高山・大山線一部開通式および飛越トンネル完成式
富山県・岐阜県知事懇談会



▲飛越トンネル内で完成を祝う両知事

大山町有峰と岐阜県神岡町和佐府地区を結ぶ大規模林道高山・大山線の一部開通式と、県境の飛越トンネル完成式が七月十二日、現地で行われました。開通したのは、大山町有峰東谷の有峰林道湖周線と岐阜県神岡町下之本の県道打保・神岡停車場線を結ぶ一三・六キロメートル。

富山県側、岐阜県側それぞれの開通式を終えた中沖富山県知事、梶原岐阜県知事をはじめ関係者は、飛越トンネルで合流。トンネルの完成式では、この区間を含めた街道（大山町小見から岐阜県上宝村に至る六八・五キロメートル）の愛称を、有峰と山之村を舞台にした中河与一氏の小説「天の夕顔」にちなみ「飛越高原天の夕顔の道」と命名。くす玉割りの後、両県知事と中河氏夫人の久仁子さんが固く握手を交わし完成を祝いました。

また翌十三日には、富山県・岐阜県知事懇談会が有峰青少年の家で行われ、世界文化遺産としてユネスコへ推薦された「白川郷・五箇山の合掌造り集落」について、「飛越世界文化遺産保全会議（仮称）」を設置することや、日本中央横断軸構想の柱ともなる東海北陸自動車道の全線開通について二〇〇〇年を目標に運動することなどで一致しました。

交通網の整備や、合掌集落の保存等における協力をきっかけに、両県交流はますます活発化していくことでしょう。



▲大規模林道の開通式（富山県側）



▲梶原岐阜県知事と対談する中沖知事

7/22~8/6

木彫りを通して世界をつなぐ

いなみ国際木彫刻キャンプ'95



木彫りの里、井波町の閑乗寺公園で、七月十二日から八月六日の十六日間にわたって「木彫りを通して世界をつなぐ」をテーマに「いなみ国際木彫刻キャンプ'95」が開催されました。一九九一年に引き続き二回目の開催となる今回は、海外十三か国十三人、国内六人の計十九

人と地元から二グループを招待。野外で、原木から作品完成までの公開制作を行いました。会期中の来場者は四人にもほり、制作過程の見学や彫刻家たちとのコミュニケーションを楽しみました。また会場では、写生コンクールや制作風景のフォトコンクール、国際食文化交流会など様々なイベントが行われたほか、二十八日には井波町総合文化センターで、招待作家たちを招いたシンポジウム「木の文化」暮らしと彫刻を考える」が開かれました。

なお、作品は十一月五日まで一般公開される予定です。国境を越えた心と技の交流、「いなみ国際木彫刻キャンプ」の町の特徴を活かした国際イベントとして定着し、木彫りを通じた国際的な相互理解が深まっていくことでしょう。



▲国際食文化交流会の様子

県政の動き

平成7年7月11日~8月10日

- 7月12日 大規模林道高山・大山線 和佐府区間、有峰区間開通式 飛越トンネル完成式
- 7月13日 第5回富山県・岐阜県知事懇談会
平成7年度日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会総会
- 7月15日 太閤山ランドプール開き
- 7月18日 富山県・サンパウロ州友好提携十周年記念式典
ブラジル音楽祭シモーネ・モレーノ・コンサート
- 7月22日 いなみ国際木彫刻キャンプ'95
- 7月27日 知事のまちなまり（高岡市 ~28日）
- 7月29日 第48回県民体育大会（~31日）
「夏の青少年を守る運動」街頭一斉啓発
- 8月3日 水環境フェア'95
- 8月5日 富山くすりフェア（~5日）
- 8月8日 第8回人口問題懇談会
- 8月10日 第5回出会いふれあいの道フェスティバル

子どもが健やかに 生まれ育つ 社会の実現



近年、出生率の低下や都市化の進展、女性の社会進出の増大など、子どもや家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。

特に全国的に見られる出生率の低下は深刻な問題であり、全国よりも早いペースで高齢化が進展している本県においては、「若者の定着と流入の促進」や、「子どもを生み育てやすい環境づくり」といった総合的な対策の実施が急務となっています。

県では、前者については「人口問題懇話会」において“働く場”、“学ぶ場”、“遊ぶ場”の創出という観点から検討を進めているほか、後者については「児童環境づくり推進協議会」を設置し、出産・育児に関する課題や対応策について幅広い見地から検討を重ねています。ここでは、子どもが健やかに生まれ育つ社会の実現に向けて県が取り組む施策を中心に紹介します。

富山県における 少子化の現状



本県における近年の出生数は、昭和四十七年をピークに減少傾向にあり、十八才未満の子どもの人口(平成五年十月)は二十年前に比べ約二割も少なくなっています。また、出生率(人口千対)は、九・一で、全国平均の一〇・〇を下回っています(平成六年概数)。また、一人の女性が生涯に生む子どもの数を示す合計特殊出生率は一・五四と、全国平均の一・五〇を上回っているものの、全国的に少子化が進んでいることを考えれば決して高い数値とはいえません(表1)。

このような少子化現象により、高齢化に拍車がかかるのはもちろん、労働力不足による地域社会の活力の低下、さらには子どもの自主性や社会性が培われないなど、様々な弊害が心配されています。少子化の原因としては、結婚・子育てに対する意識の変化、家庭・地域社会の子育て機能の低下、女性の

社会進出の増大、子育て費用の増大など様々なものが考えられるため、あらゆる方面からの施策を総合的に展開していくことが必要です。

以下、仕事と子育ての両立支援、母子保健医療サービスの充実、遊びと交流環境の整備の三分野に分け、各々の少子化対策を紹介します。



仕事と子育ての 両立支援

本県における女性就業率(平成二年)は五三・二%で全国第六位、共働き率は六四・五%で同三位ととも高く、特に二十代、三十代の女性就業率は増加傾向にあります(表2)。しかしながら、育児と就労を両立できる環境が十分ではないことに加え、家事や育児等の負担をほとんど女性のみが負う傾向が依然として根深いため、女性に過重の負担がかかっているのが実情です。

このため県では、保護者のニーズに応じた多様で弾力的な保育サービスの充実、働きながら安心して子育てができる労働環境・条件の整備を進めています。

(1) 保育サービスの充実

県が昨年実施した「保育ニーズ等に関するアンケート調査」によれば、保育所に通っている子どもを持つ母親の四割以上が保育所に対し「仕事や勤めの時間にあった預かり方をしてほしい」という要望を持っています。また、学童保育の実施や年度途中での入所といった要望もかなり見受けられます(図1)。

県では、このように多様化する保育ニーズに応えるため、特別保育事業を推進しています。例えば、親の傷病、災害・事故、冠婚葬祭などの社会的事由または休養のため、保育所に通っていない子どもの保育が一時的に必要な場合、それが少人数でも保育所に対し人件費を補助する一時的保育推進事業を今年度

から開始。また、親の仕事の都合等で延長保育を要する児童のいる保育所に対する補助も大幅に拡充しました。

この他、育児休業制度の普及に伴う年度途中に入所する三才未満児の増加に対処するため、年度途中入所者が少人数の保育所に対しても人件費の補助を行っています。さらに、昼間保護者のいない小学校低学年児童の保育についても助成を行っています。

(2) 労働環境・条件の整備

職業生活と家庭生活の両立のためには労働環境・

条件の整備が欠かせませんが、その有効なものの一つとして事業所内保育施設の設置があります。前出アンケートでも、「勤務先企業等に保育所を設置してほしい」という要望が目立っています。

県では今年度から、乳幼児定員が国の補助基準(十人以上)に満たない事業所内保育施設について、その施設整備費(新設)および運営費の助成を行うなど、働きながら安心して子育てができる労働環境の整備に力を入れています。

表1 出生数、出生率、合計特殊出生率の推移(富山県、全国)

区分	出生数		出生率(人口千対)		合計特殊出生率	
	富山県(人)	全国(百人)	富山県	全国	富山県	全国
50年	17,305	19,014	16.2	17.1	1.94	1.91
55年	13,555	15,769	12.3	13.6	1.77	1.75
60年	11,986	14,316	10.7	11.9	1.79	1.76
平成元年	10,286	12,468	9.2	10.2	1.59	1.57
6年	10,223	12,382	9.1	10.0	1.54	1.50

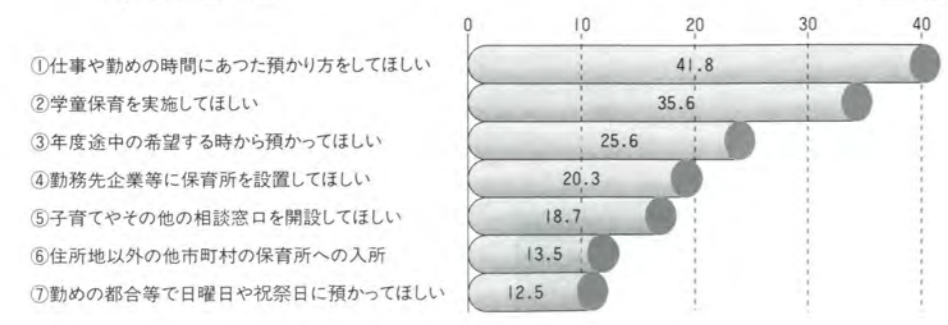
合計特殊出生率 = (母の年齢別出生率 / 年齢別女性人口) × 15歳から49歳までの合計
資料: 人口動態統計(厚生省)

表2 女性就業率・共働き率(富山県、全国) (単位: %)

区分	55年	60年	2年	全国(2年)
女性就業率 (女性就業者数/15才以上の女性人口)	54.9	53.8	53.2	47.1
25~29才 女性就業率	61.6	64.3	67.8	58.6
30~34才 女性就業率	65.2	67.6	68.0	49.2
共働き率 (夫婦ともに就業世帯数/夫婦のいる一般世帯数)	64.0	64.7	64.5	48.1
6才未満の子どもがいる世帯に占める共働き世帯の割合	-	-	56.0	33.9

資料: 国勢調査(総務庁)

図1 保育所への要望(富山県) 対象: 県内の保育所に通っている子どもを持つ母親 (複数解答・上位7位) (単位: %)



子どもが健やかに 生まれ育つ 社会の実現

安心して働ける職場づくり

朝日町 アオキ電気工業株

朝日町にあるアオキ電気工業株では、平成3年に製造業としては県内初の企業内保育園「ちゅうりつ保育園」を設立。社長の青木宏さんにお話を伺いました。



▲アオキ電気工業株 社長 青木 宏さん

■企業内保育園設立のきっかけは

子どもが生まれると育児のため仕事をやめる人が後を絶たなかったため、昭和六十三年に育児休暇制度を導入しました。しかし、一年の育児休暇を取った後でも、核家族化が進む今日では子どもを見ている人がいないため、パートにしてほしいという社員が数多く見られました。育児休暇制度の導入だけでは、女性の仕事離れの根本的な解決策にはならなかったのです。そこで、助成金等を利用して企業内保育園の開設に踏み切りました。



▲ちゅうりつ保育園のほいくえん

▲保母さん

■保育園の概要は

「ちゅうりつ保育園」という名称は、社員から募集して決めました。現在、園児数は十人、保母さんは三人です。施設内には、保育室、遊戯室、乳児室が完備しています。親等が冠婚葬祭のときや他の保育所が休みのときなどの臨時保育や一時的保育のほか、一般の方々にも開放しています。

■保育園の特色は

「手をかけすぎず、目は離さず」を保育の信条としています。お母さんたちと保母さんとの間では、連絡を頻繁にとりあい、特に園児の健康状態については十分気をつけています。事業所と保育園が目と鼻の先ですので、普段すくなくとも連絡を取り合えるというのが大きいですね。また、「ちゅうりつ保育園」という機関紙を発行して、育児についての情報をお母さんたちに幅広く提供しています。

■これからの企業内保育について

欧米では、企業内に託児施設があるのは当たり前になっており、その点で日本はかなり遅れている。

母子保健医療 サービスの充実



核家族化や出産・育児等に関する情報の氾濫、晩婚化に伴う高齢出産の増加など、いま子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。このような中、丈夫な子どもを生み、健やかに育てるための保健対策、母子保健医療について従来からの施策の一層の充実を図ることはもちろん、新たな時代のニーズに対応した施策を行うことは極めて重要です。



(1) 丈夫な子どもを生むために

本県では、新生児の死亡率が全国平均に比べ高い水準にあります(図2)。新生児死亡を減少させるためには、適切な治療を行うことにより、早産を予防し、一、五〇〇グラム未満の極小未熟児(極低出生体重児)の出生を減らすことが最も重要です。県では昨年度から、切迫早産の入・通院にかかる医療費の公費負担を実施しており、今までかなりの件数の助成が行われています。また、切迫早産の症状がある妊婦に対し、医師との連携による訪問指導を実施しているほか、保健指導のポイント等を記載した「訪問指導マニュアル」を作成し、訪問指導従事者に配布するなど、早産予防の啓発に努めています。

(2) 子どもを健やかに育てるために

子どもを健やかに育てるためには、子どもの健康づくり、疾病・障害の発生予防の推進や、慢性疾患を持つ子どもへの支援が必要です。特に、乳幼児の入院は重症の疾病が多く、家族の肉体的・精神的そして経済的負担も大きいいため、県では

市町村とともに、従来の〇歳児の入・通院医療費の助成に加え、この六月から未就学児童の入院医療費についての助成をスタートしました。

遊びと交流 環境の整備



遊びや多様な交流・体験は、子どもの健やかな成長に欠かせないものですが、少子化や都市化の進展により子どもが自由に遊び、交流できる環境が狭まっています(図3)。このことから、イベント等を通じた遊びの啓発や子ども自らが遊びを創造できるような遊び場づくり、世代を越えた交流の機会づくり、そして、子どもの安全に配慮したまちづくりなどを進めていく必要があります。

(1) 遊び環境の整備

県では、イベント等を通じた遊びの啓発として、「子どもフェスタ(仮称)」の来年度開催に向け企画等諸準備を行っています。これは、子ども自らが遊びを形づくり、遊び文化を創造していくことができるよう、子どもにとっての遊びの重要性を県民に再認識してもらうことを目的とする催しです。またこのイベントの一環として、木を使った夢のある遊具・おもちゃのデザインコンテストを実施するため、全国に向けデザイン画を募集しています。

さらに、子どもが安全にのびのびと遊べる環境づくりを進めるため、市街地や農村、山村など、地域ごとの望ましい子どもの遊び場や地域の支援体制のあり方、広域的な施設の整備方針等を示した「子どもの遊び創造プラン」策定に取り組みます。これは、二十一世紀に向けた本県の子ども遊び環境のハード・ソフト両面での指針となるものです。



▲伸び伸びと遊ぶ園児たち

図2 新生児死亡率の推移(富山県、全国)

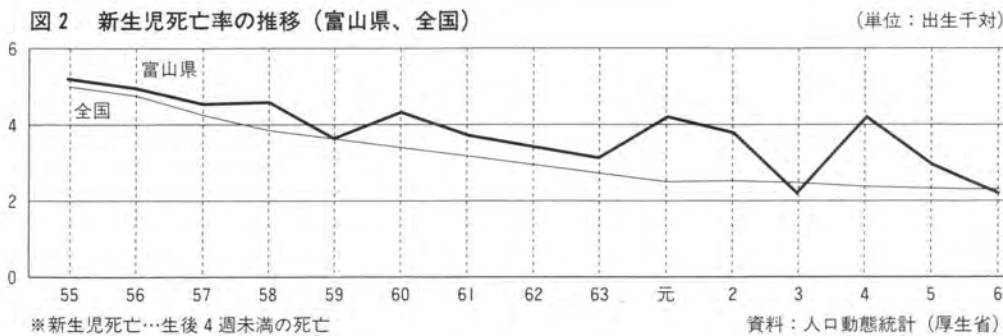
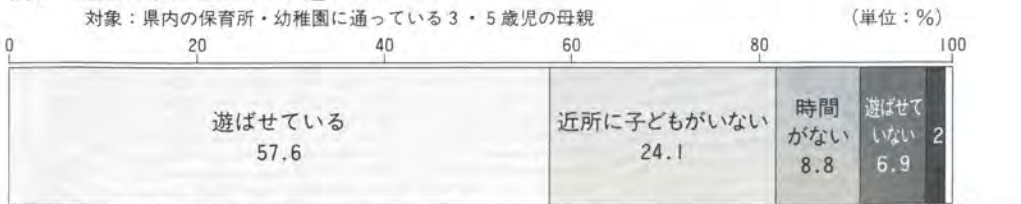


図3 近所の子どもたちとの遊びについて



資料: 育児の発達に関する母親の意識調査(平成5年: 富山県乳幼児教育振興研究協議会)

場所がない 無答 0.4

る状況にあります。大きな企業からもよく企業内保育園のノウハウについて問い合わせがあったり視察に来られたりしますが、まだまだ設置に踏み切るまでには至っていないようです。もちろん資金面の問題が最も大きいと思いますが、事業者自身が託児施設の必要性をより認識していく必要があるでしょうね。

それから、三歳までは親が育てるべきという声をよく耳にしますが、仕事に会えない分だけむしろ親子の絆は深まるのではないのでしょうか。仕事が終わって子どもを迎えに来る親と子どもたちの嬉しそうな表情を見ているとそう思えてくるんですよ。

ここで取り上げた以外にも、多子世帯に対する住宅融資条件を緩和しているほか、第三子以降の三歳未満児の保育料を軽減する市町村に対して助成を講じるなど、出産・育児への経済的支援にも努めています。また、丈夫な子どもを生むために、産科と小児科等の連携や不妊相談などを行う母子保健医療に関する県内の拠点として、母子医療センターの設置について検討しています。

県では今後も、「子どもが健やかに生まれ育つことができる社会」の実現に向け、引き続き総合的な対策を進めていきます。また、県民一人ひとりが、子どもや家庭、子育てに対する関心を一層高めていくとともに、家族や地域で積極的に協力していくことが何よりも大切です。

お気軽にお問い合わせ下さい。

○特別保育等について

県庁児童家庭課 ☎0764-443208

○母子保健医療サービスについて

県庁健康課 ☎0764-443226

○事業所内保育所について

県庁労政課 ☎0764-443257



だれもないのに
やさしさが漂っていた
えのころ草の径に
松虫草の野に くぬぎの林に
驟雨が夏の記憶をぬらしてゆくと
雲は銀色に梳かれて
ひぐらしの声もきこえなくなつた
芒は吹かれています
ビルの谷間で 信号を待ちながら
空を仰ぐひとの胸にも
ふるさとの透明な秋を
語りかけて

立山町

立山町の概要

北アルプスを貫く立山黒部アルペンルート、日本一のアーチ式ダムの黒部ダム、落差日本一を誇る称名滝などは、多くの観光客で賑わい、観光関連産業も多い。また、立山の自然と立山信仰をテーマにした立山博物館に、このほど野外施設「まんたら遊苑」が完成。まさに地域全体を舞台とした体験型の博物館となっている。

また、環境問題への取り組みも積極的で、ごみの減量や資源リサイクル運動に効果をあげ、注目されている。



ハーブの湯で心までリラックス

吉峰温泉「よしみねゆ〜ランド」



「スポーツや野外レジャーで汗をかいた後、ゆったりお湯につかっていられる方も多いですね。土日になると五百人以上の利用客で賑わうんですよ」この秋、たっぷり自然を満喫した後は、よしみねゆ「ランド」で心も体もリラックスしてみたいかがだろう。



▲西野義雄さん



▲よしみねゆ〜ランド

キャンプ場やバーベキュー広場、パークゴルフ、山野草園などからなるレジャー拠点、グリーンパーク吉峰に、このほど吉峰温泉「よしみねゆ〜ランド」がオープンした。

「もともとは、ここに温泉をつくる計画はなかったんですよ」とグリーンパーク吉峰の西野義雄さん。温泉の建設構想は、近くに建設中のリハビリ病院が温泉を掘りあてたことに始まる。「せっかくなので温泉が出たんだから、パーク内にもぜひ浴場をつくらう」ということになったんです。この「ゆ〜ランド」の目玉はハーブ湯。しかも、使われるハーブは全て隣接するハーブ園で栽培されているものだ。「ハーブには香りだけでなく、様々な薬効があるんです。例えばラベンダーは、汗疹、肩凝り、神経痛、リウマチなどに効能があるんですよ」と西野さん。温泉とハーブの相乗効果も大いに期待できるというわけだ。そのほか、打たせ湯やジェット湯（泡風呂）などいろいろな温泉が楽しめる。



▲雷鳥漬

▲寒もち



母ちゃんたちの「こだわり特産品」

立山町農村婦人グループ連絡協議会



▲西田弥生さん

立山町農村婦人グループ連絡協議会加工部会（会員三十名）は、十年以上にわたり、町の特産品づくりに取り組んでいる。協議会会長の西田弥生さんにお話をうかがった。

「当初は、米の消費拡大を目的に始めた。寒もちづくりが、いつしか特産品化の方向へと進展していったんです。寒もちの商品化には六年もの歳月が費やされたという。会員たちで材料や製造方法など、研究に研究を重ねました。ですから商品には自信を持っています」その言葉通り、権現かんもちと名付けられた商品には、様々なこだわりが見られる。もち米には最高級の品種を使い、よもぎ、しそ、干しえびといった天然の素材で味付け、色付けを行う。無論、合成着色料は一切使わない。「みやげ物屋さんを中心に販売していますが、県外のお客さんには珍しいようで、よく売れますよ」寒もちだけではなく、胡瓜や茄子、冬瓜などを粕漬にした「雷鳥漬」も人気商品。会員自らが栽培から加工までを手がけている。近々、寒もち、漬物のセット商品も売り出す予定だ。

「売上はどんどん伸びています。これからは皆様に喜ばれる特産品を開発していきたいですね」西田さんの言葉からは、こだわり商品づくりに賭ける会員の皆さんの熱意がひしひしと伝わってくる。

町の歴史がここに甦る

立山町郷土資料館



▲野田正喜さん

この四月、五百石商店街の真ん中に立山町郷土資料館が開館した。「もともと銀行だったこの建物を、取り壊さずに改修してこの資料館が誕生したんですよ」と、同資料館の野田正喜さん。

館内には、縄文時代から昭和初期までの出土品や古文書、絵図、陶器などが時代別に展示されている。中でも、十六世紀末に立山町で生まれた越中瀬戸焼の器の数々や、日本画家、辻着石が明治時代に描いた「立山八景」などが目を引く。「各家庭の蔵には、まだまだ町に関する貴重な品々が眠っているんです。開館時には、江戸時代に岩崎寺で宿坊を営んでいた家々から史料をお借りして、企画展を開いたんですよ」と野田さん。十一月には、五百石の生い立ちをテーマにした第二回企画展を行うという。また二階フロアは、町の芸術愛好家たちの作品発表の場として開放。月二回の割合で絵画、書、写真などの展示会が開かれており、まさに地域に密着した施設となっている。



よみがえり甦る



▲立山八景より



▲越中瀬戸焼

「歴史というものは、年月が経過するほど暖味になるものです。町の歴史をひもとくことは、この資料館に携わる者の重要な役割だと考えています」野田さんの力強い言葉が印象的だった。

富山県の 主要プロジェクト



我が国最大のスポーツの祭典である国民体育大会(国体)が西暦2000年(平成12年)に、富山県で開催されることがいよいよ内定しました。

準備委員会では、この国体が県民総参加の富山らしい感動あふれる大会となるよう、開催に向けた準備を進めています。

▲開催内定通知書を受領する中沖知事

感動あふれる富山国体の開催をめざして

二〇〇〇年国体開催内定

第55回国民体育大会の冬季・夏季・秋季大会が富山県で開催されることが七月十一日に内定しました。同日開かれた財団法人日本体育協会の理事会で満場一致で了承されたもので、年間を通じて同一県で開催するのは、国体史上九番目となります。

高原日本体育協会会長から開催内定通知書を受領した中沖知事は、「県民の皆様と一体となって、知恵も汗も出し富山県らしい祭典となるよう全力を尽くしていきたい」と力強く決意表明をしました。

開催の基本目標

西暦二〇〇〇年という節目の年に開催される富山国体を意義のあるものにするため、次の三つの項目を基本目標として掲げます。

- ① 県民総参加のもと、県民の総力を結集し、総合優勝をめざすとともに、富山らしい感動あふれる祭典とする。
- ② 新たなスポーツ文化を創造し、二十一世紀の全国モデルとなる大会とすること。
- ③ 新しい地域づくりを推進する契機とするとともに、活力あふれる発展する富山県のイメージを全国に向けて情報発信すること。

二〇〇〇年国体では、県内の全市町村を会場に正式競技三十七競技、公開競技三競技、デモンストラレーションとしてのスポーツ行事二行事が行われます。全市町村を競技会場として開催する国体としては、全国で四番目となるこの大会を県民総参加の感動あふれる国体として成功させるため、県民の皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

ふるさとへの愛を育む

郷土史の魅力

Essay
Essay
Essay



▲郷土史愛好家のバイブル「富山県史」

富山県公文書館館長
瀬尾達也

「あさ早うからかんにん。いま時分に来んにや、いい席取れんもんやさかい。」あの歴史講座の常連、コーさんが今年も一番に元気な姿を現した。今年度の講座初日の朝八時半過ぎのことである。

県史に関する知識の普及事業の一環として富山県の歩みを学ぶこの講座は今年で九年目。当館が各界から講師を招き、毎年春から夏にかけて富山県の歴史に係わる様々な講演を実施しているものである。当初は三十名の定員で恐る恐る始めたものだったが、今では百名を超える受講希望者を断り切れず、毎回会場が溢れんばかりの盛況である。毎年ほとんど欠かさずに顔を見せる人が半数、女性が三分の一、年齢層は二十才代から九十才代までなど、受講者の顔ぶれは実に多彩である。

いつもながら受講者の出席は早い。日頃は閑散とした駐車場が様々な自家用車や自転車であふれ、十時開演の前には、会場は今日もすでに熱心な聴衆で一杯となった。講演が始まると、そこかしこでメモを取る人や録音する人などに聴衆の熱意に講師の声にも次第に力が加わる。さらに講演が終わった後も、様々な質問が続出する状況である。「話すのが怖い。だが、実に話しいがある。」講師は口を揃えて歴史講座をこう評価する。

生き活きた顔、食い入るような眼差し。一体何がかくも多くの聴衆の心を魅きつけるのだろうか。

「郷土史の話を聞いとると、何とも言われん気持ちになるがです。そのうちに、いつも『わしらはこの富山県に生まれ育つてよかった!』ちゅう気持ちになって、この富山県がなおかで好きになってくるがです。いまだきの若い者にこき、こんな話を聞かいてやりたいですちや。」かのコーさんは受講生の気持ちをこう総括する。

そう。郷土史の魅力は、われらのこの故郷富山をいまや日本一豊かな地に築きあげた幾多の先賢の尊い血と汗の



▲講師の熱演を終始真剣に聴講する「歴史講座」受講者たち

努力の足跡が、いまこの地に生きていくわれらに限りなき感動と教訓を授けてくれることにある。郷土史はわれらに富山人としての大きな誇りと、強い愛郷心を育んでくれる。また、郷土史はわれらにこの日本一の故郷へしあわせ富山をさらに磨き、しっかりと後世に託す新たな使命感と強い決意を培ってくれるものである。

かくして歴史講座は今年度も盛況裡に無事終了した。ふるさとへの限りない愛を育んでくれる郷土史の魅力にさらにも多くの人々に伝える努力を、これからも積み重ねていきたいと念じている。

「ありがとお。来年もまた呼ばってください。」かのコーさんはほのぼのとした後味を残して、いかにも満足げに会場から速がかった。いった。

第55回国民体育大会

開催内定記念行事(仮称)の 来場者募集!

第55回国民体育大会の開催内定を記念して催す、開催内定記念行事の来場者を募集します。

この記念行事では、富山国体のテーマ・スローガンの発表のほか、バルセロナオリンピック柔道金メダリスト、吉田秀彦選手や立川志の輔さん、地元スポーツ関係者による楽しいトークやパフォーマンスが繰り広げられます。

ぜひあなたもご参加下さい。(入場無料)

◇日 時 10月10日(体育の日)
午後3時から

◇場 所 県民会館大ホール

◇募集期間 8月26日から9月18日まで
(当日消印有効)

◇申込み方法

応募は往復はがきで

住所	氏名	年齢
電話番号	人数	
(住所)	(氏名)	様

(募集人数は約800人ですが、お申込みが多数の場合は、先着順とさせていただきますのでご了承ください。)



立川志の輔さん



吉田秀彦選手

◇申込み・問合せ先 〒930 富山市安住町2-14 北日本スワフエア5階

第55回国民体育大会富山県準備委員会

☎0764-449667

I 県からのお知らせ Information

お知らせ

第1回富山県民生涯学習フェスティバル まなびアピアとやま95in魚津

昨年度の第6回全国生涯学習フェスティバルに引き続き、本年度より富山県民生涯学習フェスティバルが開催されます。

学習活動の発表や生涯学習に関する展示などに触れながら、多くの人に楽しく生涯学習を体験していただき、新しい自分を発見していただくこと開催されるものです。

期日 10月14日(土)、15日(日)
会場 新川文化ホール(JR魚津駅から徒歩10分)
会場 新川文化ホール(JR魚津駅から徒歩10分)から心へ、生涯・楽・習

内容	
1) マナビステージ (大・小ホール)	
オープニングイベント	吹奏楽、民俗芸能、創作ダンス (お茶の水女子大ほか)
県社会教育大会	温かく活力ある地域づくりをめざす活動事例の発表ほか
県民カレッジフェスティバル	講演「私が映画で出会った人」映画監督 藤田正浩ほか
ふるさと富山遺産イベント	「200X年 そのとき富山は？」ゲスト宮尾すすむ
リフォームファッションショー	多様な素材の意外な活用法、市民の手づくりファッション
マナビステージ	新川地区市町他の各種団体による舞台発表
2) マナビサロン (展示ホールほか)	
にいかわランド	新川の豊かな自然、古い歴史、新しい文化が実感できます
ふれあい工房	新川の学習団体による体験工房、気軽に参加できる交流の場
小中学生絵画展	100年後の郷土は？少年少女が大きな夢を描きます
消費生活展	新しく施行されたPLI法など暮らしに役立つ情報あれこれ
職業能力開発フェア	「じぶんパワーアップ」職業能力開発の相談に応じます
余暇診断	ゆとり名人による余暇の過ごし方紹介。自分のゆとり度は？
郷土文化講座	ふるさと富山の歴史、文化を考える講演会
ふるさと映像フェスティバル	県民の手による自作ビデオの優秀作品上映と講演会
放送大学展	放送大学にはどんな講座があるの？身近な大学を紹介します
自遊塾チェーンレクチャー	県民教授が公開する連続ミニ講座。参加者の質問大歓迎！
3) マナビ広場 (イベント広場)	
	手話講習、工作教室、奇術、スカウトキャンプ、地震体験、警察展、お茶席など

このほか、子どもからお年寄りまでだれでも楽しめる、発見と感動のイベントがいっぱいです。皆さんふるってご参加ください。

問合せ 第1回富山県民生涯学習フェスティバル実行委員会
(魚津市教育委員会社会教育課内) ☎0765-231045

雇用継続給付の支給申請手続きについて

雇用保険法改正による高齢雇用継続給付及び育児休業給付制度の最初の支給申請手続きが9月1日より始まりました。60歳から65歳に達する間に60歳時点の85%未満の賃金で雇用されたり、1歳未満の子を養育するため育児休業を取得した被保険者の方はこの制度の対象となりますので、お早めに所定の手続きを行ってください。

問合せ 県庁雇用保険課 ☎0764-4414554
またはお近くの公共職業安定所

巡回就学相談のお知らせ

県心身障害児就学指導委員会及び県教育委員会では、心や体の発達に心配のあるお子さんの教育についての巡回就学相談会を実施します。相談希望の方は、お気軽に申し込みください。

実施期日 平成7年10月11日(水)、17日(火)
会場 県総合教育センター
富山市高田 525 (富山商業高校東隣り)
申込み・問合せ 各幼稚園、保育所(園)、小学校、中学校、市町村教育委員会

平成7年度「男性セミナー」開催

県では、みのり豊かな男女協同社会の実現に向けて、男女平等の問題を考える、「男性セミナー」を開催します。

日時 10月14日(土) 午後3時～6時30分
場所 県民会館 401
内容 講演「男性学への招待―男女共同参画社会に向かおう―」
講師 伊藤公雄(大阪大学助教授)
分科会(男と女のE関係・男と子どものいい関係 企業社会からの脱出 高齢化社会と男性問題) 他
定員 18歳以上の男性50名

平成7年度育林ヘルパー募集(下半期)

県民のみなさんに、森林の重要性を再認識し、林業労働を身近に体験して頂ける機会を提供する育林ヘルパー活動(下半期)の参加者を募集しています。

今年度は9月30日から10月29日までの毎週土曜日と日曜日に山田村の公社造林地において枝払い作業を行う予定です。
問合せ 森林公社林業担い手センター
☎0766-416166 内線243

(1) 消費者スクール

内容

- (第8回) 9月29日(金) 午後1時30分から
「情報化時代における消費生活―情報の読み方と自己管理術―」
講師 富山大学講師 堀田裕弘氏
- (第9回) 10月27日(金) 午後1時30分から
「消費者の常識・非常識―売り手からの苦言―」
講師 消費者問題評論家 山本和夫氏
- (第10回) 11月10日(金) 午後1時30分から
「家庭における消費者教育―子供に対する消費者教育の進め方―」
講師 滑川市教育長 山下節子氏

開催場所 (第8回・第10回) 富山安住町第一生命ビル8階

参加料 無料
問合せ 県庁女性青少年課 女性係
☎0764-4413137

平成7年度富山県総合防災訓練 「都市型震災訓練」の実施について

富山市で直下型地震を想定した「都市型震災訓練」を実施します。

これは、阪神・淡路大震災を教訓に、消防、警察、自衛隊などの防災関係機関や地域の自主防災組織等が連携し、地震災害に対する対策的、確に機能するよう、実践的な訓練を行うものです。ぜひご参加、ご観覧ください。

また、訓練当日は富山市の中心部や海岸部などの訓練会場周辺では、交通規制が実施されますのでご協力をお願いします。
実施日 10月3日(火)
場所および時間等については、県庁消防防災課 ☎0764-443187までお問い合わせ下さい。

啓 発

下水道事業の推進にご協力を

9月10日は、全国下水道促進デーです。下水道は、快適で文化的な生活を営み、川や海岸の水環境を守るためには欠くことのできない施設です。しかし、平成6年度末の本県の下水道普及率は、まだ44%にすぎず、整備の促進が強く望まれているところです。

屋外広告の許可を受けて表示しましょう

屋外広告の乱立やその不適切な管理は、街の景観を損なったり、周囲に危害を及ぼしたりします。このため県では、富山県屋外広告物条例によって、屋外広告禁止地域を設けています。また、その他の場所でも多くの場合、屋外広告の表示や設置には市町村の許可が必要です。

〔第9回〕マリエとやま7階オルビス
募集人数 約120名
受講料 無料
問合せ・申込み 県消費生活センター
〒930 富山市安住町7-18 (富山安住町第一生命ビル内)
☎0764-3212949 ☎0764-312631

(2) 1日教室

内容

- (第8回) 10月3日(火) 午後1時30分から
「花でやさしい街づくり―球根栽培とミニ―」
講師 全国都市緑化とやまフェア実行委員会 塩谷佳和氏
- (第9回) 11月14日(火) 午後1時30分から
「手づくり食品加工のすすめ―漬物加工の実験等―」
講師 消費生活センター
- (第10回) 12月5日(火) 午後1時30分から
「住まいの衛生と洗剤―住居用洗剤の効果的利用―」
講師 ライオン家庭科学研究所長 犬伏式生氏

開催場所 高岡市本丸会館
募集人数 約60名
受講料 無料
問合せ・申込み 富山県消費生活センター高岡支所
〒933 高岡市本丸町7-1 ☎0766-2512890

みなさんの相談窓口

- 県政について
県民相談室 富山市新総曲輪1-7 (県庁内)
☎(0764)31-4111 (代)
31-3131 (県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211 (総合庁舎内)
☎(0766)21-9411 (代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7 (総合庁舎内)
☎(0765)24-5311 (代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7 (総合庁舎内)
☎(0763)33-5151 (代)
- 物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)
- 消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)32-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番
家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
- シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごと富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
☎(0764)33-4150 (県庁生涯学習室)

県からのホットニュース

- テレビ広報
■ チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:25~9:40
「ふるさとトーク」
■ 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「112万人のひろば―クイズ/フォーカス/イン」
■ 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00~11:30
「こんにちは富山県です」
9/3 200X年 県民が燃える！
9/10 21世紀を拓く少年スポーツ
9/17 高齢者の交通事故防止
9/24 私たちのふるさとづくり ~平村~
- ラジオ広報
■ FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:50~9:55
- 新聞広報
■ 北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

平成7年10月街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
4	水 小杉町役場前	12:30~16:00
7	土 JFR高岡駅前	10:00~16:00
14	土 富山市「アピタ」ショッピングセンター前	10:00~16:30
15	日 富山西武デパート前	10:00~16:30
18	水 魚津市役所前	9:30~16:00
19	木 立山町商工会館前	9:30~16:00
28	土 砺波市コスモタウン「ジャズ」砺波店、ショッピングセンター前	10:00~16:00
29	日 JFR福光駅前	10:00~16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日(祝祭日除く)、献血を受け付けています。(受付時間9:00~16:45)
富山県赤十字血液センター
富山市坂野26-1 TEL (0764)51-5555

九月

宮めぐりの神事

小矢部市ほよぶし埴生



武将たちのときの声

境内にこだまする

小矢部市埴生にある護国八幡宮では、毎年九月十五日午後、宮めぐりの神事と呼ばれる珍しい祭事が行われる。

氏子の長老を先頭に、烏帽子に道中袴をはいた御幣奉持者、古文書箱を捧げる男の子数人、そして甲冑かぶとに身を固め、刀や槍を持った武者姿の若者たちが列をなし、笛や太鼓の囃子はやしにあわせて拝殿の回廊を回る。一周約三十メートルの回廊を七回半巡り終えると、若者たちは早太鼓を合図に「ウォーッ」と、ときの声を上げながら本殿に突入するのである。

江戸時代から行われているこの神事だが、元をたどれば源氏の大将、木曾義仲が平家の大軍と砺波山で戦う前、護国八幡宮に戦勝祈願をした様子に習って始められたといわれる。祈願の際、天空から軍旗の上に降り立った白い鳩を神のご加護と信じた義仲は、数百頭の牛の角に燃えさかるといふたみつき、深く切り立った倶利伽羅谷へなだれのように落ちていったという。その後、護国八幡宮は佐々成政や武田信玄、前田利家ら多くの武将たちの信仰を篤く受けることになる。

さて、この神事に見られるような「巡る」という行為は、一種の降神、帰神の儀式の一つといわれるが、武者に扮してこれを行うのは非常に珍しい。神事が終わると、大喚声がかました境内は再び静けさに包まれ、つわものどもが夢のあとあとと化してゆく。

暮らしのQ&A



断ったつもりが購入申し込み書に？ —紛らわしい紳士録の申し込み書—

Q

電話で紳士録の購入を勧誘されましたが、必要ないので断ったところ、「既に書類を送ったので、不要ならばその書類を返送してほしい」といわれました。二日後に届いた予約確認書には、「目立つ大きな文字で「次回以降購入継続を致します致しません」の選択欄があったので、「致しません」を丸で囲み返送しました。

しばらくして、業者から「予約は今回だけでよろしいですね、代金の請求書を送りますのでよろしくお願います。」と電話があったので、驚いて予約確認書をよく見ると、確かに上部に小さく「今回は申し込み」旨が記されていました。

A

この事例の場合、今回分と次回以降の分の申し込みが一緒になっていて誤解を招きやすい予約確認書の問題があります。相談者には、この点を主張して、契約は錯誤によるもので無効である旨を内容証明郵便で出すよう助言したところ、無事解決することができました。

最近、紳士録に関する相談が増加しています。著名人を対象にして無用なトラブルは避けたいという心理につけ込み購入代金を支払わせるケースも少なくありません。ですから、こうしたトラブルに遭わないためにも、送られてきた申込書等はよく読んで、不審な点がある場合は返送しないようにしましょう。断る場合に署名捺印をして返送してほしいと求めるものには、特に注意が必要です。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

南極といってしまうとすぐ思い出すのは、小学校時代、国語で習ったある物語。イギリスのスコットとノルウエーのアムンゼンが南極点への到達を競う話だが、結局アムンゼンに軍配が上がる。スコットは極点に到達するものの、帰路途上、寒さと飢えで息絶えてしまう。南極大陸の自然の厳しさがひしひしと伝わる内容で、今でも強く印象に残っているのだ。

極点到達から八十年余り。今や世界約三十か国が南極に基地を持っている。施設も充実して、昭和基地では常に薄着で過ごせるように室温が設定されているほか、簡単なスポーツも楽しめるそうだ。

とはいうものの、一歩外へ出れば零下数十度の極寒の世界が待ち構える。「この歳になると命がけですよ」と笑う観測隊副隊長の川田さん。スコットは極点到達に男のロマンを賭けたが、川田さんは太古の地球にロマンを求めて、この秋、南極へ向かう。(K)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。10月24日消印有効です。

富山県広報課 写真プレゼント 9月号係あて
〒930
氏名
住所
電話
本誌を読んだ感想

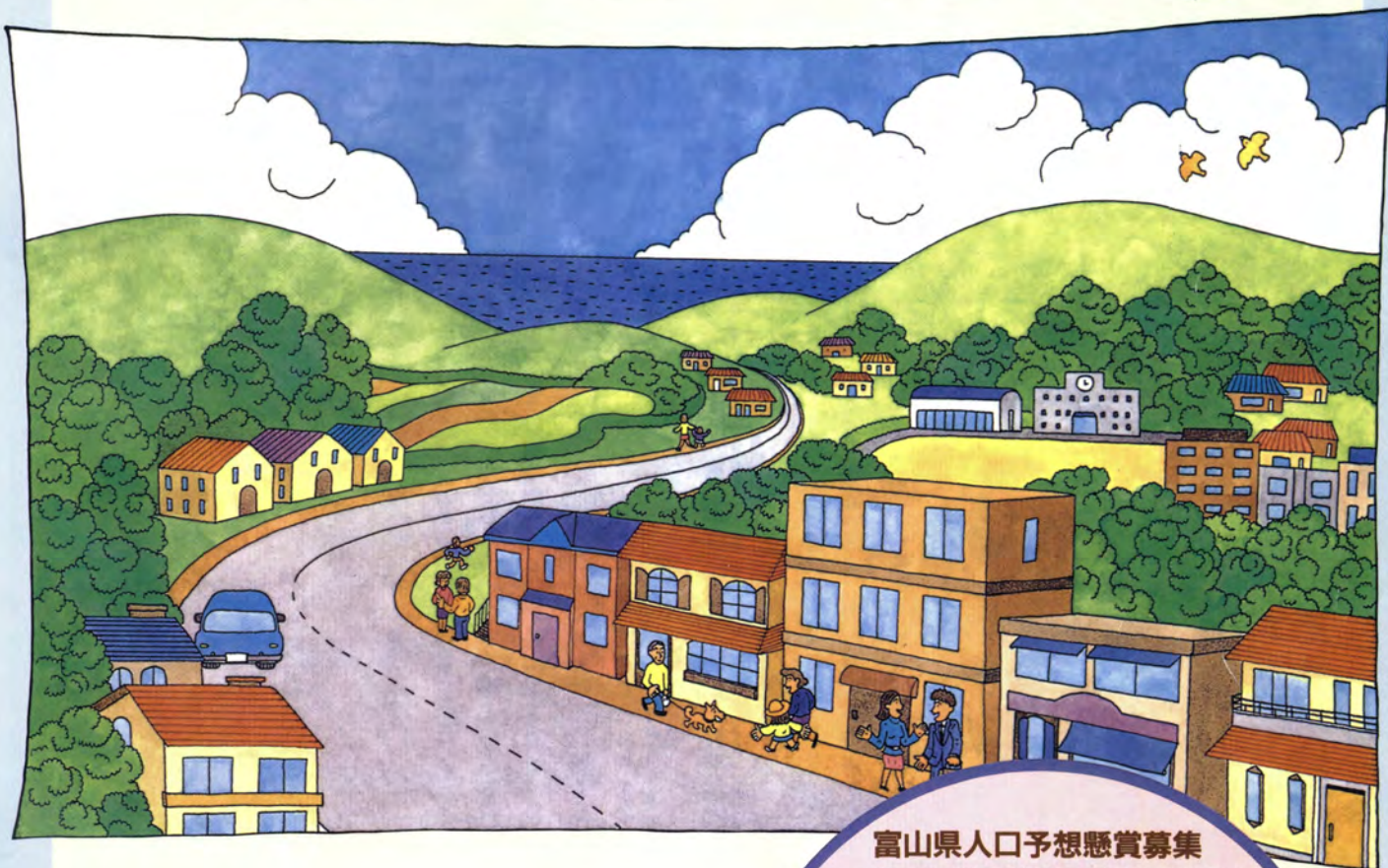


◀センサスくん

平成7年国勢調査



私のまち 好きなまち 皆がささえる国勢調査



国勢調査は、日本に住んでいるすべての人を対象として行う大規模な調査で、この調査結果は、福祉、雇用、住宅対策など、皆さんの生活に直結する資料として、国や都道府県、市町村の行政に活かされます。

9月23日から、調査員が皆様のお宅に伺いますので、ご協力をお願いします。

富山県人口予想懸賞募集

県ではこの国勢調査にあわせ、富山県人口予想懸賞募集を行います。国勢調査時における富山県の人口を予想し、次の要領でご応募下さい。

応募方法

郵便はがきに「県人口予想懸賞解答」と書き、1枚につき1つの答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入してください。

応募先

〒930-80 (住所不要)

県庁統計課内「国勢調査富山県実施本部懸賞募集」係まで。

賞金 金賞1名5万円ほか

ヒント 平成2年10月1日現在の

富山県の人口は1,120,161人。

問合せ 県庁統計課 ☎0764-44-3192

総務庁統計局・都道府県・市区町村